

アジア自動車基準認証フォーラムの概要

○アジア自動車基準認証フォーラムの開催目的と概要

現在アジア諸国のいくつかの国がWP 29に定常的に参加してきている。このような状況を踏まえ、本会議はWP 29に参加するアジア諸国の政府間における基準調和及び認証の相互承認に関する政策的、技術的、実務的な意見交換の場を設立することを目的としている。

基準調和・認証の相互承認に関するアジア諸国の協調体制を構築し、アジア諸国の意見を国際基準に反映させていくことにより、アジア地域を含めた国際的な基準調和と認証の相互承認の実現を加速することを目的として開催するものである。

○今回の概要

開 催 日： 平成18年11月28日（火）

場 所： ジャカルタ（インドネシア）

主 催 者： 日本国国土交通省

参 加 国： アジア地域のWP 29 参加国又は参加予定国
インドネシア、韓国、マレーシア、タイ、日本

出 席 者： 各国の自動車関連行政機関（運輸、環境）関係者 13名

インドネシア	運輸省陸運総局 カルロ・マニーク認証センター所長 他3名
韓国	運輸通信省自動車チーム サン・ドゥ・キム部長 他2名
マレーシア	運輸省道路交通局 ザハマイル・オマー技術部長 他1名
タイ	陸運局技術安全部 フィンフン・チェリー・オバシス技官 他1名
日本	国土交通省自動車交通局技術安全部技術企画課 和辻 健二 国際業務室長 他1名

結果：

- 1) WP 29 及び 58 年協定にかかる各国の活動状況について意見交換を行った。
- 2) フォーラム参加国の間で、WP 29 や APEC/VSHG の近況に関する情報を共有したと共に、特にアジア官民会議と APEC/VSHG との有効な関係を図っていくことを確認した。
- 3) アジアにおける 58 年協定に基づく基準の調和と相互承認の実現のために、アジア官民会議やアジア自動車基準フォーラムの場で議論を続けていくことが重要であるとの共通認識を得た。
- 4) 専門家会議の積極的な開催と 2007 年以降のスケジュールについて提案された。
2007 年 2 月 フィリピン 認証制度について
2007 年 4 月 ベトナム 1958 年協定への加盟について
2007 年 マレーシア Safety Glazing Material
2007 年 インドネシア Noise Emission
- 5) アジア自動車基準フォーラムの開催を継続していくことが確認された。